

臼田地区新小学校建設基本計画

佐久市教育委員会

目 次

1章	基本計画の位置付け	-----	1
2章	基本構想	-----	2
3章	基本計画	-----	3
1	臼田地区新小学校づくりのコンセプト（考え方）		3
2	開校に向けた取り組み	-----	4
3	スケジュール	-----	4
4	計画地の状況	-----	5
5	学校規模	-----	7
6	主な想定施設	-----	7
7	施設の特徴	-----	8
8	通学路・通学方法	-----	9
9	学校給食臼田センター建設地	-----	11

基本構想

- 新小学校建設のための
 - ①基本理念
 - ②目指す姿
 - ③学校施設環境を定めるもの



基本計画

- 基本構想に基づき、必要な機能、施設の特徴や、スケジュールに関する基本的な考え方
- 通学路、通学方法に関する基本的な考え方
- 学校給食臼田センター整備に関する基本的な考え方を定めるもの



基本設計

- 新小学校の建物の構造や配置、間取り、外観、面積、概算工事費などを基本設計図書としてまとめるもの
- 新小学校の具体的な完成時の姿が明確になるのはこの段階

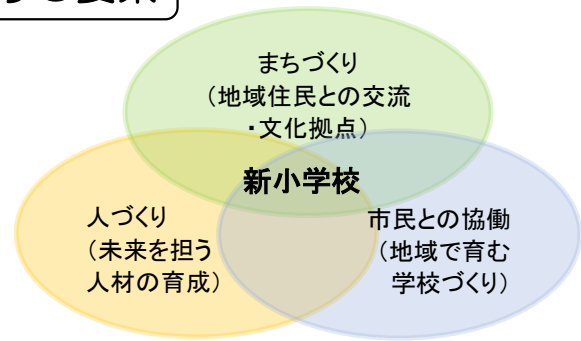


実施設計

- 新小学校の校舎やグラウンドなどの詳細な図面作成や工事費の積算を行うもの

佐久市教育委員会の学校づくり3要素

- (1) 人づくり
- (2) まちづくり
- (3) 市民との協働



臼田地区新小学校の学校づくり

○理念

単なる機能を充実した使い易い学校ということだけでなく、児童が過ごす6年間において、特徴ある学びの体験や思い出作りに寄与し、充実した施設設備の中、ここで学んだことに誇りを持てる学校づくりを目指します。

○5つのコンセプト（考え方）

- 1 安全性と安心感のある学校
- 2 多様な学習活動ができる学校
- 3 環境との共生に配慮した学校
- 4 豊かな心・健やかな体を育む学校
- 5 地域の交流・文化拠点としての学校



新小学校の目指す姿（既存4小学校の学校教育目標を集約）

- ・活発な教育活動を可能にするための環境
→児童が安心して活動できる環境づくり
- ・目指す学校像
→豊かな育ちを目指す学校 地域の教育力を生かす学校
- ・目指す教育活動
→自己実現のできる教育活動 学習支援活動が生かせる教育
- ・地域づくりに関われる学校
→地域の文化活動の拠点となれる学校

文部科学省の学校施設整備基本方針

- ①高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- ②健康的かつ安全で豊かな施設整備の確保
- ③地域の生涯学習や、まちづくりの核としての施設の整備

1 臼田地区新小学校づくりのコンセプト(考え方)

コンセプト		内容
1	安全 ありと 安心 校心 感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非構造部材を含め耐震化構造を有した施設整備 ・ 分かりやすい避難経路、避難しやすい施設配置 ・ 戸締り等のセキュリティ管理に配慮した施設整備 ・ 児童の動線と車の動線を分離する配置 ・ 通学路の安全対策 ・ スクールバスへの安全な乗降が可能な駐車場を配置 ・ 昇降口、校庭等が見える職員室の配置 ・ 避難所として機能するための設備及び施設の配置
2	活多 る動 様 学が な 校 で 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟な学習活動ができる施設(例:広い廊下)の整備 ・ 屋外学習スペース(例:ビオトープ(※①)等)の整備 ・ ICT(※②)の活用に配慮した学習環境の整備 ・ 高機能、多機能で変化に対応できる施設(可動間仕切りの設置等)
3	環 境 と の 配 慮 し た 学 校 に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観に配慮した敷地造成 ・ 太陽光パネル等の再生可能エネルギー発電設備 ・ 地元産の木材の活用 ・ 4小学校の備品等の活用 ・ ライフサイクルコスト(※③)に配慮した施設 ・ 校内の温度、湿度に配慮した施設
4	な 豊 体 か な を 育 む こ と が か か る 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的空間(例:多目的ホール等)の配置 ・ 児童のプライバシーに配慮した相談室の配置 ・ 図書教育の充実化に配慮した施設整備 ・ 4小学校の歴史等を振り返ることができる場(例:展示、掲示スペース等)の整備 ・ ユニバーサルデザイン(※④)の導入 ・ 農業学習を通じた食育の推進 ・ 特色ある健康づくりの推進
5	地 域 の 交 流 の 学 校 と	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と地域の人が併用できる体育館、校庭、多目的ホールの設置 ・ 行事(運動会、老人会等)を想定した施設配置、整備(ステージ、収納スペース等) ・ 臼田地区の特徴を学べる施設の設置 ・ コミュニティスクール(※⑤)の推進

カッコ内の例はあくまでイメージであり、配置、整備が決定しているものではない。

※① 動物や植物が恒常的に生活できるように造成された小規模な生息空間

※② 情報(information)、通信(communication)に関する技術(technology)の総称

※③ 製品や構造物を取得、使用するために必要な費用の総額。企画・設計・維持・管理・廃棄に至る過程で必要な経費の合計額

※④ 障がいの有無や年齢などにかかわらず、全ての人にとって使いやすいように始めから意図して作られた製品や施設、環境、情報のデザイン

※⑤ 保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を有する形態の学校

3章 基本計画

2 開校に向けた取り組み

開校に向け、次のように取り組む。

- 地元説明会やパブリックコメント（意見公募）等、合意形成を図りながら事業を推進する。
- 4小学校間における児童の交流を図り、一体感を醸成する。
- 4小学校間における保護者及び地域の交流、連携を促進し、コミュニティスクールや見守り隊等により、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。
- 通学路については、通学路検討部会での検討を経て、4小学校で決定し、通学路の整備については、通学路交通安全プログラムに基づく点検等により安全対策を実施していく。
- 通学方法については、児童にとってどのような通学方法が良いか、安全安心に通学ができるかを今後十分検討し、通学路検討部会に諮る中で市教育委員会の案を示していく。
- 放課後の児童対応について、総合的に検討していく。
- 校名の制定方法等について検討していく。

3 スケジュール

2018年度	2019年度	2020年度
○農地転用・開発許可	○実施設計	
○基本設計・実施設計	○埋蔵文化財調査	
○用地買収・登記	○用地造成工事	
○地質調査	○歩道橋工事	
○埋蔵文化財試掘	○通学路整備	
○歩道橋要望		

2021年度	2022年度	2023年度～2025年度
○校舎・体育館建築		開校
○プール・グラウンド整備		
○歩道橋工事		
○通学路整備		

※本事業が最短で施行された場合のスケジュールとなる。

（開校予定 2023年度～2025年度）

※本スケジュールは、新小学校建設及び通学路整備に限るものとなる。

4 計画地の状況

所在地	佐久市下小田切字下前田165-1ほか
面積	約25,500㎡
用途地域	無指定 建築物の高さ20mを超えないこと（佐久市開発指導要綱）。
防火・準防火地域	指定なし
建ぺい率	60%
容積率	100%
周辺道路等	(北側) 市道52-9号線(幅員約4.5m~5.0m) (東側) 県道整備中(幅員約14.0m 平成29年度開通予定) (南側) 市道52-4号線(幅員約3.3m~4.6m) 中部横断自動車道佐久臼田IC(南西へ約600m) (西側) 県道上小田切臼田停車場線(幅員約7.4m~9.0m)
道路斜線	1.25
隣地斜線	1.25(立ち上がり20m)
埋蔵文化財	小山崎遺跡群、日影遺跡

○新小学校建設計画地の現況写真（a～dは次頁の写真撮影方向位置）



a地点から



県道バイパスより西側を望む。
下小田切の人家が見える。

b地点から



南側より北側を望む。
老人ホームさくら苑、その左側に
浅間山が見える。

c地点から



西側から東側を望む。
左側に稲荷山公園のコスモタワー
が見える。

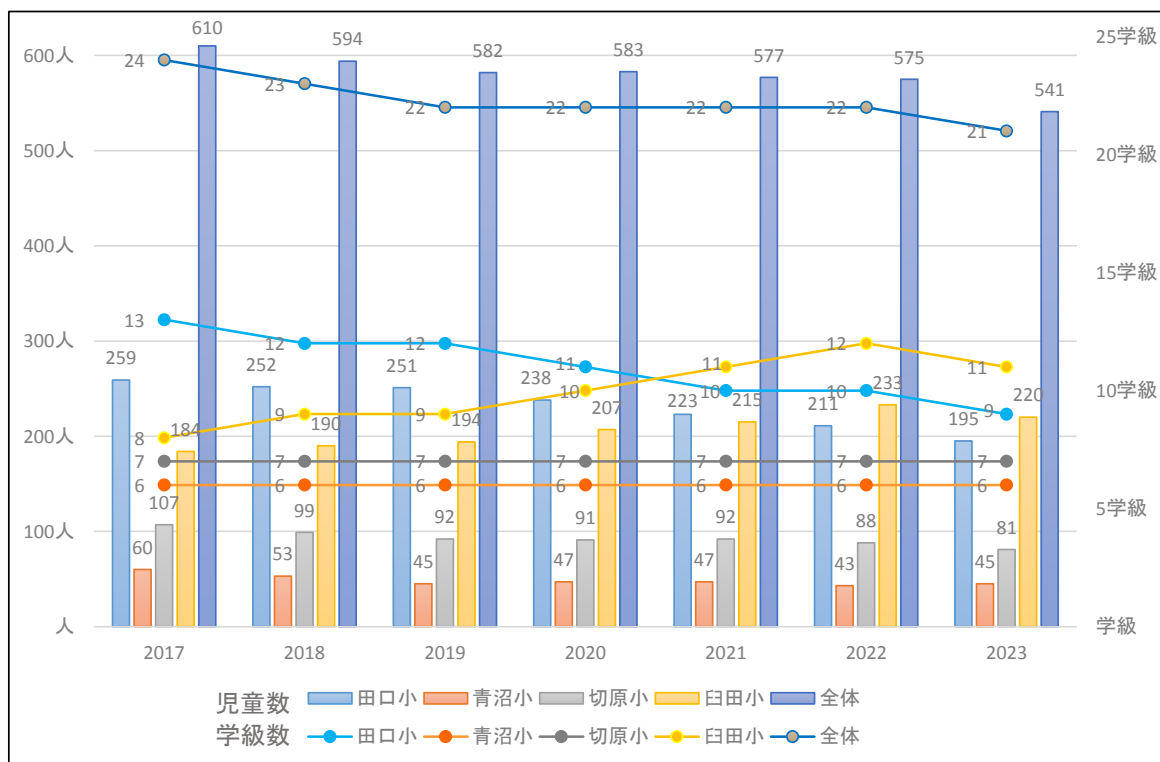
d地点から



北側の市道から南側を望む。
遠くに八ヶ岳が見える。

5 学校規模（児童数・学級数の推移）

佐久市臼田地区には田口小学校、青沼小学校、切原小学校、臼田小学校の4校がある。この4校の2017年度以降の児童数及び学級数の推移は、次のように推定される。



※児童数は、2017年10月1日現在の住民基本台帳登録人口による。

※学級数は、35人学級で算出する。

※2023年度 児童数541人、21学級の学年別内訳は、下表のとおり

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
児童数	70	93	82	107	95	94		541
学級数	2	3	3	4	3	3	3	21

6 主な想定施設

教室	普通教室、特別支援教室、多目的教室
特別教室	図書室、コンピュータ室、理科室、図工室、音楽室、調理室、被服室
管理諸室	職員室、印刷室、校長室、事務室、保健室、教育相談室、給食受室、会議室、資料室、教材室、職員休養室、職員更衣室、職員トイレ、機械室、放送室、用務員室
生活交流空間	多目的ホール、昇降口、玄関、階段、エレベーター、廊下、トイレ、手洗い所
体育施設	体育館、グラウンド、プール(更衣室等含む)
外構ほか	駐車場、駐輪場、花壇、植栽、ビオトープ、屋外多目的スペース、その他付属建物等

7 施設の特徴

屋根



地域の景観に配慮して、屋根は切妻・瓦葺とする。

廊下



ワークスペースを兼ね、廊下の有効幅員を約3mとする（建築基準法上の基準は最低1.8m）。

図書館



4校の本が持ち込める大きさの図書館を、昇降口の周辺に配置する。

主な施設概要		臼田地区新小学校の特色
屋根	切妻、瓦葺	地域の景観に配慮して、屋根は切妻、瓦葺とする。
内装	地域産木材を使用	内装には、地域産木材を利用し、木のぬくもりあふれる校舎にする。
普通教室	多様な学習・少人数学習に対応した教室を整備	1学年当り3学級及び多目的教室を基本に整備し、多様な学習や、少人数学習の対応等の工夫をする。
廊下	有効幅員約3m（壁の芯々で4m）	弾力的な学習が展開できるよう、ワークスペース（教室以外の多目的スペース）兼廊下の有効幅員を約3mとする（建築基準法で定める最低の廊下幅は1.8m）。
図書館	昇降口の周辺に配置	青沼小学校の新津靖文庫のほか、4校の本が持ち込める大きさの図書館を、昇降口の周辺に配置する。
体育館	遠赤外線暖房設備を設置	温かく静かな体育館にするため、遠赤外線暖房を設置する。
ビオトープ	ビオトープ整備	自然環境に関心を持ち、体験学習等も実施するために、ビオトープを整備する。
グラウンド	トラック160m 直線100mがとれるグラウンドを整備	トラックは外周160m、また、100mの直線がとれる広さのグラウンドを整備する。

8 通学路・通学方法

(1) 通学路の設定と安全確保

○通学路の条件

- ・ 歩車道の区別がある道路を優先する。
- ・ 歩車道の区別が無い場合、交通量が少なく、児童の通行が確保できる幅員を有する道路を優先する。
- ・ 遮断機の無い無人踏切を避ける。
- ・ 見通しの悪い危険箇所を避ける。
- ・ 横断箇所に横断歩道、信号機が設置されている道路を優先する。
- ・ 犯罪の発生する可能性が低い など

○交通事故防止等にかかわる安全確保のための方策

- ・ 通学路を表示する標識を必要な箇所に設置する。
- ・ 危険箇所や交通状況により交通規制を要請する。
- ・ 特に危険な場所では、警察官等による誘導や指示、交通安全や犯罪防止のために必要な設備等の設置を要請する。
- ・ 障害物の放置、工事状況、催し物の実施等に関連して、通学路を点検し適切に対処する。
- ・ 保護者、関係機関等との情報交換を円滑に行う体制を確立する など

○防犯にかかわる安全確保のための方策

- ・ 通学路を通過の登下校を指導する。
- ・ 通学路の要注意箇所や危険箇所を把握する。
- ・ 通学路の要注意箇所や危険箇所のマップを作成し、児童等へ周知する。
- ・ 「子どもを守る安心の家」等、登下校における緊急時の避難場所について児童等へ周知する。
- ・ 登下校時等の緊急事態発生の場合の対処法(大声を出す、防犯ブザーを鳴らす、逃げる等)について指導する。

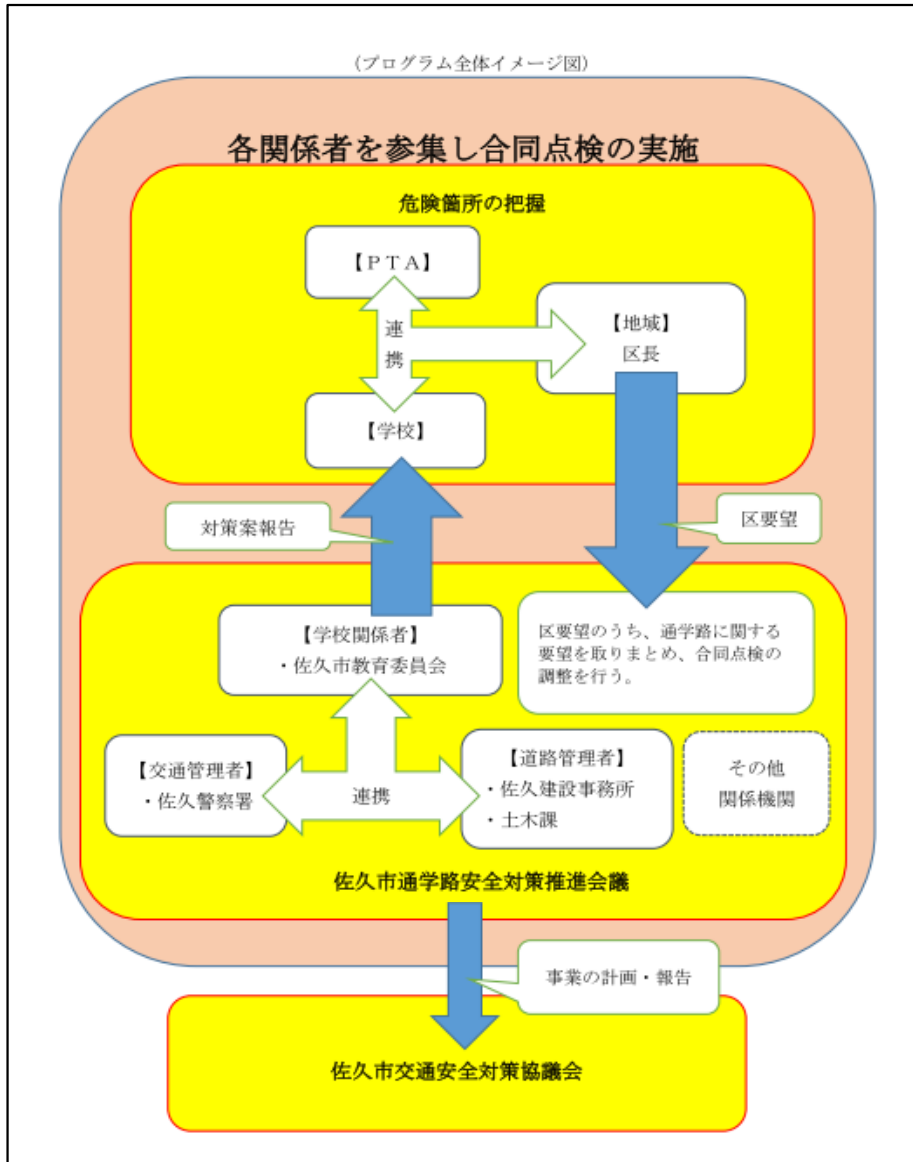
○交通事故防止及び防犯にかかわる安全確保のための方策

- ・ 地域の方による「見守り隊」の組織づくり

(2) 通学路の安全対策

○佐久市 通学路交通安全プログラム

- ・ 通学路の安全を確保するため、下図のとおり、交通管理者及び道路管理者と連携し、合同点検を実施して、対策を図っていく。



(3) 通学方法

○バス通学のエリアの検討

- ・ 佐久市立小・中学校児童生徒遠距離通学費補助要綱で、児童の居住地から学校までの通学距離が、片道4km以上ある場合、遠距離通学となる。ただし、学校の統合等により佐久市教育委員会が児童の通学に著しく支障があると認める場合については、この限りではないと定めている。
- ・ 児童にとってどのような通学方法が良いか十分検討し、安全安心に通学ができるよう図っていく。

9 学校給食臼田センター建設地

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の学校給食臼田センターは、昭和56年4月1日に設置され、36年が経過する。 ○ 佐久市内に5施設あるうち、最も古い施設である。 																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設等の老朽化により、施設改修や、耐用年数が過ぎた設備・機械の整備は必要不可欠である。 																					
対応案及びアンケート実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食臼田センターの建設地について、臼田地区4小学校及び中学校において実施した5つの対応案に対するアンケート結果は以下のとおりである。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">順位</th> <th style="width: 30%;">アンケート実施結果</th> <th style="width: 60%;">対応案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">58.8%</td> <td>新小学校建設予定地及びその周辺に建設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">21.6%</td> <td>既存の臼田給食センター周辺で建設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">16.3%</td> <td>臼田地区4小学校の跡地に建設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1.9%</td> <td>ほかのセンターで給食を調理して配送</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1.4%</td> <td>上記以外の臼田地区内に建設</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「新小学校建設予定地及びその周辺に建設」の回答については、全ての学校において50%を超えている。</p>	順位	アンケート実施結果	対応案	1	58.8%	新小学校建設予定地及びその周辺に建設	2	21.6%	既存の臼田給食センター周辺で建設	3	16.3%	臼田地区4小学校の跡地に建設	4	1.9%	ほかのセンターで給食を調理して配送	5	1.4%	上記以外の臼田地区内に建設	合計	100.0%	
順位	アンケート実施結果	対応案																				
1	58.8%	新小学校建設予定地及びその周辺に建設																				
2	21.6%	既存の臼田給食センター周辺で建設																				
3	16.3%	臼田地区4小学校の跡地に建設																				
4	1.9%	ほかのセンターで給食を調理して配送																				
5	1.4%	上記以外の臼田地区内に建設																				
合計	100.0%																					
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな学校給食臼田センターでは、安全、安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進、アレルギー対応充実を図り、より良い給食と正しい食習慣を養うことを基本とし、建設地は、臼田地区新小学校づくりワークショップによる臼田地区新小学校建設基本計画に向けた提言及びアンケート実施結果を最大限に尊重し、今後、学校給食臼田センターの基本計画・基本設計に向け、新小学校のレイアウト等を考慮する中で検討していく。 																					